

ワーキング・ウーマン  
〒464 名古屋市千種区  
茶屋が坂 2-6-B-805  
(052) 842-2739 (内藤)  
留守番電話・FAX

♀W・Wニュースは隔月発行です  
申込先 〒振替 00870-4-10024  
ワーキング・ウーマン  
年間購読料 4000円



## ワーキング・ウーマン99年度の計画が決まりました

あくまで予定です。日程などは決まり次第早めに連絡します。

### 5月 年齢差別禁止法に関する勉強会

愛知学院大学教授など講師依頼中。詳細は5月号で

### 7月 森田ゆりさん講演会

テーマ未定だがフェミニズムをテーマに

### 8月 夏合宿

テーマ募集中

### 10月 働く女のからだービルと更年期ホルモン療法を考えよう

エコフェミの論客聞く

### 12月 年末パーティー

恒例です こちらも企画募集中

### 2月 メディアリテラシーについて

立命館大学鈴木みどりさん

#### = CONTENTS =

★ 99年度計画決定 ..... 1

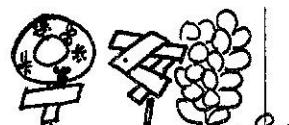
★国際女性デー ..... 2

★レイプ裁判 ..... 8

★四日市の少年だよりに公開質問状 ..... 5

★新着ミニコミ案内 ..... 11

次回事務局会議 4月12日(月) pm7:30 女性会館



# I W omen's D ay

International

3月7日 ちのき広場  
'99 国際女性デー

テントを立て始めたころからポツンポツンと降り始めた雨は、イベントの間中振り続き…でも女達のエネルギーでそれを吹き飛ばして国際女性デーのイベントが行われました。

国際色豊かなのは昨年以上。ステージは、アフガニスタン問題をテーマにした、クリスら”アウトオブオーダー”の芝居。ドメスティックバイオレンスをアカペラで歌うケイト。フィリピンからはババエ（女）の歌。朝鮮人学校の生徒による歌や踊り。大脇雅子さんのスピーチ。フェミニストロックバンド **Mella**。そしてWWの、「大津地裁レイブ裁判」「四日市市教育委員長差別暴言」についての緊急アピールなどに、傘をさしてたくさん的人が立ち止まっていました。



8ベスト女性映画」を出展し全体にとても充実していました。

ディスカッションテントは、性同一障害などを考える「心の性・身体の性」が盛り上がっていたほか、WW会員の前田さん、森さんなどによる7つのテーマが準備されました。また、バザーのコーナーで、今年はじめてWWが女の古本市を企画しましたが、雨にも関わらず盛況で6000円近い売り上げをIWDにカンパする事ができました。また、寒い雨の中ではとびきりおいしいコリアンのおもちスープ”トックッ”などの品が並びました。さて、5万円の旅行券をはじめとする豪華景品の当たる抽選会のあと、雨にもめげずに、パレード。色とりどりの♀マークやフェミニストカラーも鮮やかなたくさんの風船、そしてミモザの花を手に、栄の街を、IWDの歌を歌いながらぐるりと一周し、道行く人々もたくさん巻き込んで歩いたのはやはりIWDの醍醐味。来年はきっと良いお天気になりますように。

(来場予定だった上野千鶴子さんは体調不良のため、みえませんでした)

タリバン政権下におけるアフガニスタンの女性差別を知っていますか？！

96年、イスラム原理主義勢力“タリバン”が政権を握って以来のアフガニスタンの女性差別は激烈なものだ。女性は男性の身内がいなければ外で働くことが許されない。たくさんの女性が仕事を奪われ家に押し込められている。ある女性は車の運転中に腕を露出していたと言うだけで暴徒に殴り殺された。アウトオブオーダーの芝居はこの事態を紹介し、抗議行動を訴えた。

展示テントでは、スウェタの「日本女性受身神話の虚構」が目を引き、アムネスティは「アメリカ女性被拘禁者の人権問題」。その他「性暴力、性犯罪を許さない」、「チベットの問題」、「長谷川友子さんのアジアの写真」、F's のジェンダーやシングル単位の視点から見た「この世の不思議展」など。そしてWWは「大津レイブ」「四日市」と「9

I. W. D.  
はきなれた低い靴で、  
一人で歩くのが好き  
自分の選んだ道を  
ぐんぐん歩くのが好き

だけども今日、女の日  
ひとりひとりつながろう

声をそろえて IWD  
\*ミモザ片手に IWD  
今日は世界の女の日  
I. W. D Yeah

姉たちから渡された  
大切に使おう権利  
妹に渡すために  
拡げていこうよ権利

それは緑の地球と同じ  
システムフード贈り物  
\*繰り返し

## '98年度 女性監督映画ベスト5

### 第1位 「パンデツ」 (ドイツ/カーチャ・フォン・ガルニエ)

パンデツとは刑務所の中で結成されたロックバンドの名前。

4人の女性がまんまと脱獄するが、逃亡中に自分達の歌が大ヒットさあ、どうする?

シスター・フットで結ばれた4人の女性達のエネルギーッシュな生き方がすばらしい。

見ると、とっても元気のてる映画

### 第2位 「ピヨンドサイレンス」 (ドイツ/カロリーヌ リンク)

ろうの両親を持つ娘ララ。二人を深く愛しながらも、自立して音楽の道を

進もうとするララは、親と対立せざるを得ない。

女性の成長と、家族への愛情が暖かく描かれている。必ず泣けます。

### 第3位 「シークレット (嵐の夜に)」 (アメリカ/ジョセリン ムーアハウス)

アメリカ、アイオワ州の大農場主ラリーは尊敬を集める表の顔とは別に、家庭内では長女と次女に暴力をふるう男だった。その傷を残したまま成人し家庭生活を営む二人だが、ある日この事実は明らかになる。ミシェルファイファーとジェシカラングがこの姉妹に深く共感したすばらしい演技を見せる。

### 第4位 「幸福の街(原題「紅西服」)」 (李 少紅/リーシヤオファン)

開放経済の進む中国・北京。夫はリストラで失業。自分の首も危ない者(チー)の  
悩みが多い。中国のホームドラマだが、リアリティがある。文化大革命も経験した  
中国の団塊の世代(ペヒーブーマー)の状況は日本とよく似ていて思わずうなづく。

### 第5位 「女と女と井戸の中」 (オーストラリア/サマンサ ラング)

ニューサウスウェールズ州の荒涼とした自然の中で暮らすヘスター。ここに突然やつ  
てくる若い女性キャサリン。二人の間に生まれる不思議な愛情。しかしある日、  
とんでもない事件がおきる。

オーストラリアからは、ジェーン カンビオンをはじめ、才能ある女性監督が輩出  
している。これは、オーストラリア政府のとっている積極的な男女平等政策の成果では  
ないかと思う。

### そのほか、おすすめしたい女性監督映画

・「遙か遠くて」 (ロシア/リティアボブロヴァ)

・「ドライ クリーニング」 (フランス/アンヌ フォンテーヌ)

・「アルテミシア」 (フランス・イタリア/アニユス メリル)

・「ナヌムの家II」 (韓国/ヒヨン ヨンジュ)

・「第七宮界彷徨・尾崎翠を探して」 (日本/浜野 佐知)

## 国際女性デー I.W.D. -国際交流の時代を反映-

かつて国際婦人デーはサンパチ(3月8日)の呼称で親しまれ、革新的な政党・団体の主催で開催された。ピラには毎年、1908年米国の女性たちが「パンをよこせ」「参政権を与えよ」と起ち上がり、1910年クララ・ツェトキンが3月8日を国際婦人デーとして世界中に広めた来歴が書かれてあった。

そして、その時代時代の闘争方針をスローガンに掲げ、かなり政治的色彩を鮮明にして参加者を鼓舞したものであった。従って権力とは対立的で、ある種の緊張関係にあった——などを想いおこしながら……ことしの国際女性デーに参加した。現役を引退した私にとって時代の流れは一入であった。

99年国際女性デーは文字通り在名古屋の国際色豊かな有志でつくる「わいわいういみん」の主催で3月7日(日)栄の真ん中(もちの木広場)で開かれた。そば降る雨の一日であったが、みんな元気で特設ステージを囲み、ホントに盛り沢山なスピーチ、歌、太鼓、世界の民族芸能などの披露、民芸品即売コーナーのにぎわいの中で、国際交流を深め、一方では討論会、均等法・性暴力などの展示、またそれぞれの相談窓口も開設した多彩な催しが注目された。

——主催側のコーナー毎のテント張りの支度には全く感心させられた——

私は今年で3回目(主催側4回目)の参加であったが、今年は準備段階と後始末をちょっと手伝ったが、東別院のお茶所の広い部屋を2週間余も借りて、いく種類もの看板・旗・プラカードなどを製作する姿、これまた国際有志の奮闘、或日は、真夜中まで作業したという熱心さ、これらの準備の成果は、雨にもかかわらず当日の盛況を招いたのだと思っている。

デモも元気だった……みんなでI.W.D.のこの日のための歌を歌い、道行く人々に語りかけながら歩いた。デモのあと会場のあと始末——テントたたみ、机、椅子の返却作業、ゴミ片付けなど——見事であった。

国際交流の時代を反映した愛娘たちの浣瀬たる姿は  
やっぱり頼もしい。2000年は正念場か?一人一人の自  
立した輝く力で成功させたイベントに拍手をおくろう。

たちふみこ



少年センターだより（四日市市少年センター発行）8月号No. 300  
「家庭の価値」四日市市教育委員会教育委員長 日比義也氏署名記事に関する  
公開質問状

四日市市長殿

1999年（平成11年）3月16日

（四日市市教育委員会教育長いも  
文章をいかれて出でさせて  
いさせてます）

四日市市の教育を考える会 代表 山田あい  
みえ別姓の会 代表 服部京子  
三泗子ども劇場協議会  
女性問題研究会 TSU・アイリス  
代表 柏木はるみ  
ジェンダーフリー教育をすすめる会  
代表 中島美幸  
名古屋エスクール 代表 横江大樹  
WIN女性企画女性学研究所 代表 渋谷典子  
B PW名古屋クラブ 会長 柳澤佐和子  
Fifty・Fifty 連絡先 富士都弥子  
ワーキングウーマン 連絡先 内藤菊枝  
岩本美砂子（三重大学教授）  
二宮純子（弁護士）

前略

現在、国会では男女共同参画社会基本法が制定される段階にあり、地方公共団体の役割、責任の所在を明確にし、男女共同参画社会の実現を促進する体制整備がすすめられています。

また、子どもの育成にとって、母親の職の有無よりも緊密な親子関係（親には父も含む）の有無であることは、かなり前から調査報告されています。

そのような時に、教育委員会教育委員長という公職にある人が、少年センターだよりという広報紙上に、「家庭の価値」と題する一方的で偏見に満ちた意見を掲載されたことを、大きな問題と把えています。

日比義也教育委員長の「家庭の価値」に関する、市長及び四日市市教育委員会教育長の一連の対応について、多々疑問を抱きました。以下、公開質問状という形で質問させていただきますので、ご回答をよろしくお願ひ致します。

なお、本書は公開質問状です。回答があったか否か、その内容などについて、各報道機関やインターネット、教育関係グループ、女性グループなどに広く公開致しますので、ご了承下さるようお願ひ致します。

お忙しいことと存じますが、平成11年3月31日迄に、書面にてご回答下さるよう重ねてお願ひ致します。返信用封筒を同封いたします。草々

記

第1.

1. 「女性が家庭に戻ることこそ青少年問題の解決の第一歩である」という考え方には賛成ですか？
2. 貴市教育委員長の発言として「女性が家庭に戻ることこそ青少年問題の解決の第一歩である」という意見は適切だとお考えですか？
3. 日比教育委員長は、生活のために、子どもがいても女性が働き続けなければいけない家庭に対し、四日市市として十分な生活費を保証しても家庭に戻るべきだとうお考えなのですか。  
( はい ・ いいえ )

4. マサチューセッツ大学のエリザベス・ハーベイ博士は、6000人の子どもの調査を基に、職を持つ母親の下で3歳まで育った子どもと他の子どもを従順さ、行動に問題があるかどうか、自尊心、知識習得などの点で比較したところ、双方にはどの点についても大きな違いがなく、重要なのは母親の職の有無よりも緊密な親子関係があるかどうかだと述べています。貴市教育委員長は、どのような調査研究に基づいて「女性が家庭に戻ることこそ青少年問題の解決の第一歩である」と少年センターだよりに書かれたかお教えください。

5. 平成9年10月、四日市市長は、日比義也氏を教育委員として再任し、「家庭の価値」という記事は平成10年8月10日発行の少年センターだよりに載りましたが、その後の平成10年9月、教育委員会は日比義也氏を教育委員長として互選しました。

第2.

1. (1)四日市市において、女性も男性も働き続け、かつ、子育てができるようにするための施策に充てられた予算を教えて下さい。

(2)その施策とは何ですか。施策例に該当するものに○をつけて下さい。(複数可)

2. (1)女性が家庭に戻って子育てに専念するための施策に充てられた予算を教えて下さい。

(2)その施策は何ですか。(施策例に該当するものに○をつけて下さい。複数可)

第3.

(1)教育委員会組織内での「人権・男女共同参画研修」は年間どのように実施されていますか。受講割合と講座内容をお教え下さい。(項目以下省略)

第4. 四日市市は、憲法第14条・24条などに規定された「両性の平等」を市民に浸透させるため、どのような教育施策を実施されていますか。該当するものがあれば、○をつけて下さい(複数可)。

第5. 平成10年8月10日付少年センターだより発行後、この「家庭の価値」に対してたくさんの意見や批判があったと聞きました。この記事のどの部分に、どのような内容の意見や批判が寄せられたのですか? 内容を明らかにして下さい。

第6. つい最近、四日市市教育委員会教育長 佐々木龍夫名で、「子どもを育む家庭のすがた」と題する記事が、少年センターだよりに掲載されました。

(1)どの様な目的と経過の下に、このような対応をされたのかお教え下さい。

(2)また、教育委員長の職とは違う『教育長』職が書かれたのは何故ですか? あわせてお答えください。

第7. 私達は日比教育委員長の「家庭の価値」という記事について撤回等を要求するのですが、

①撤回させる意思はありますか?

②日比教育委員を罷免する意志はありますか?

③日比氏に自ら辞職するよう勧める意志はありますか?

新聞は、朝日(3/18)、中日(3/17)の北勢版で報道されました。

回答の期限は3月31日です。回答は次号ニュースやW.W.ホームページでおしらせします。

# 女性が家庭ノルマ

少年セントラルより

\* そこやかな青少年に育てましょう\*

8月号 NO. 300  
(平成 0年8月10日発行)  
四日市市少年センター  
四日市市本町9-8 本町プラザ  
☎ 0593-51-3244

## 家庭の価値

四日市教育委員会教育委員長 日比義也

鈴野綾子氏は、ある教育に関する講演で、次のような主旨の話をされた。

「青少年問題の責任の半分は本人にあり、残りの半分の2.5%は家庭にあり、そしてその残りの半分、即ち1/2、5%ずつを学校と地域が負うべきである。」  
これは「どんなに悪い人間でも100%悪いといふ人はいないのだから、家庭と学校と地域が頼めば、何とかすることができる。」と、前向きに考えることができる。  
しかし、逆に「家庭と学校と地域がどれだけ頼頼っても、100%完全とはいかないのだから、本人が相当以上に悪ければ、どうしようもない。」と、悲観的にもれる。

これは、カトリック信者でもある曾野氏の意見であるが、結婚式神道・葬式仏教の私も充分うなづける意見である。

さらに曾野氏は、「本人以外で、青少年に対して一番大きな責任を持つべきなのは家庭である。」とも主張している。それでは家庭の中心は何か。私はそれは母親であると思う。

最近、女性の社会進出だとか、家事からの解放だとかいわれ、それに付随して男女雇用機会均等法だとか、セクハラ論議も盛がしい。しかし、私はこれら前提に重大な誤解があると思う。それは「社会活動が家庭より価値がある」という思い込みである。社会活動は確かに世の中を豊かにしたり、他人にがんばりしたりする。そして、それによって個人の生活の糧を得ている。しかし、そんな事にどれ程の価値があるというのか。

私は小さな会社の経営者で、その会社も比較的公益性の高い仕事であるが、子ども一人を生み育てることに比べれば、まるで話にならない程つまらない出事である。面白くないからストレスが溜まり、その精神のために酒・煙草・パチンコ・カラオケ・ゴルフにふけけることになる。これらは楽しいことのように見えるが、やってみればどれもむしろ辛いことばかりである。育児や家事に出れば、こんなに簡単に面白くならない社会活動を、何故女性が引き入れようとするのか。金を稼ぎ、名誉を保つことなど、女性が上手く家庭生活を取り出切ることに比べれば何と非創造的なことか。女性の社会進出など、いわば女性の家庭逃避か、男性の甲斐性のなさと同様ではないのか。女性が家庭に戻ることこそ、青少年問題の解決の第一歩と考える

四日市教育委員会教育委員長 佐々木龍夫

昨年の少年センターだより8月号に掲載された日比義也教育委員長の「家庭の価値」については、多くの方々から様々なご意見をいただきました。そこで、今回この紙面をお借りして教育長としての私の考え方をお伝えいたいと思います。

この文章は、教育委員長が、現在の青少年を読みきり複雑かつ深刻な状況を憂慮し、子どもを健全に育成する立場から、女性の進出が嬉しい社会活動との比較の中で、家庭の価値をより高く評価し、父親のそれとは微妙に異なる母と子どもの心に占める母親の存在の大ささと影響力の大ささを痛感し、家庭における母親の役割の重要性について改めて問い合わせられたものと理解しています。

しかしそれに対し、「家庭における父の役割について全く触れず、一方的に母親のみにその責任を負わせているのでは」というご意見や、「女性の社会進出を否定している」とのご批判をいただく結果となりました。寄せられた多くのご意見ご批判を真摯に受け止めますとともに、多くの方々にご心配やご不快の念を抱かせることとなつたことは誠に遺憾と存じています。

教育委員会としては、これまで女性問題の解消、男女平等社会の実現を目指し、あらゆる分野、特ににおいて教育・啓発活動を進めており、新総合計画の中でも施策の大きな柱として位置づけています。

今回の文章が提起した問題は、青少年問題における家庭のあり方、父親母親の役割、また、男性女性の家庭観・職業観をして、女性が社会参加を果たしていくのに必要な条件整備のあり方など、多くの課題を提起することとなりました。今すぐ結論を得るには難しい課題が多くありますが、今後、これを契機に、教育委員会においても男女共同参画社会の実現を目指して取り組みを進めていくことが重要であると考えており、多くの方々の隊々が家庭からのご意見を期待するものです。

いかがでありますか。

## 大津レイプ事件

「被害者の重大な落ち度」  
「ボランティアで減刑」  
判決に抗議！！

去る1月29日に、大津地方裁判所において、輪姦犯（強姦致傷罪）の被告人に、彼らが裁判官が指示した「ボランティア」を行ったという理由で、情状が酌量され、執行猶予が付くという信じられない判決が出されました。これに対し、抗議しようと春日井の岩間さん（女性への性暴力・犯罪に甘んじない会）から呼びかけがあり、ワーキングウーマンとして抗議の要望書を出そうと考え、名古屋近辺の6つの女性団体が、2月3日、大津地裁と大津地検に抗議の要望書を提出し、中部、関西地方の新聞でも取り上げられました。

ところが、判決の全文を入手してみると、さらに驚いたことには、減刑の第一番目の理由に「被害者の重大な落ち度」があげられていたのです。この性犯罪に対する典型的な差別的視点に対して、さらに抗議を行いました。

また、全国の女性団体にこの情報を流して、抗議を呼びかけたところ、大阪の「フェミニストかんべりング堺」から問い合わせがあったほか、名古屋の「F's」も刑法学者を呼んで、例会を企画するなど広がりつつあります。3月7日の国際女性デーでもWWとしてアピールを行いました。ただ、検察は示談が成立している事などを理由に控訴しないことを決めており、裁判官からは何の返事も来ていません。

### 要望書

1999年2月3日

大津地方裁判所 刑事部裁判官

安原浩、高須要子、村中玲子様  
(大津地方検察庁殿)

愛知女性研究者の会

WIN女性企画

かけこみ女性センターあいち  
女性への性暴力・犯罪に甘んじない会

Fiffty・Fiffty

ワーキング・ウーマン

(男女差別をなくす愛知連絡会)

### 前略

去る1月29日に大津地方裁判所で、輪姦犯（輪姦致傷罪）の二人の被告人に対し、彼らが「ボランティアを行った」ことで情状が酌量され、

執行猶予となる判決が出ました。

この判決はとうてい看過できない、遺憾なものであり、ここに強く抗議いたします。

強姦は、男性にとっては罪悪感の薄い犯罪で、「男だから仕方がない」「女も楽しんだ」とさえ言い放つ犯人もいます。一方、女性にとっては、告訴によって偏見にさらされたりプライバシーを侵される等「セカンドレイプ」を被り、やっと告訴できても物的証拠の不足などで有罪を勝ち取ることが少ない犯罪です。それに加えて、有罪が証明されても、「ボランティア行為」で実刑を免れるとは、強姦罪が女性に与える精神的肉体的衝撃をあまりに軽視していると言わざるを得ません。

そもそも、『強姦罪』は「人格の尊厳」を深く侵害した犯罪であるのに、この法定刑（2年以上の有期懲役）は、「財産」に対する犯罪である『強盗罪』（5年以上の有期懲役）より低く、この種の犯罪の再犯可能性の高い点などを鑑みれば、より、重刑が望まれるところです。

さらに、被告人らの「ボランティア」とされた行為は、裁判官が指示したもので、被告人らの自発的な行為ではなく、本来「ボランティア」とは呼びがたい内容です。しかも、「強姦」が、女性の人格の尊厳を根元から踏みにじる極めて恶劣な犯罪であると言う性質を考えれば、これが「清掃などのボランティア行為」によって情状酌量されるのは論理的整合性を全く欠いているといえます。

「ボランティアによって実刑が免れる」と言う判決は、社会認識、法制度など、ただでさえ不備な「強姦」をめぐる状況をさらに悪化させます。このような、女性の尊厳を軽視した判決は許されるべきものではありません。今一度、強姦が女性の人格を深く侵害しレイプ・トラウマ・シンドロームなどの後遺症を残すまでの重い犯罪であることを理解して（検察庁宛は、「是非控訴して」を付加）くださるよう切望いたします。

### 「被害者の重大な落ち度」

判断に対する抗議

1999年2月15日

(宛先と差し出しあり)

一、過日、1月29日に貴大津地方裁判所の、輪姦犯（強姦致傷罪）の二人の被告人に対する、「ボランティアを行った」ことで情状を酌量し、執行猶予とした判決に対し、私たちは、強く抗議及び要望を申し入れました。

上述の、抗議及び要望は、1月30日付けの中日新聞及び日本経済新聞紙面で取得した情報に基づくものであったため、当該判決の全文を入手しました。

ところが、この全文を拝読して、さらなる驚きと怒りを禁じ得ず、ここに新たな抗議を申し入れるものであります。

二、私たちが、最も問題としたい点は、量刑軽減の第一番目の事由に「被害者の重大な落ち度」があげられていることです。

- 1、この事案の「被害者の重大な落ち度」とは、「被害者が、数ヶ月前に被告人らの友人のために強姦されそうになったが、危うく難を逃れたという経験を持っているにもかかわらず、午前1時を過ぎた深夜に、面識のない被告人らの呼び出しに応じて、パジャマ姿にコートを羽織つて、被告人らの車両に乗り込み、被告人らの犯行を誘発した」というものです。
- 2、たしかに被害者は軽率であったかもしれません。しかし、被告人らは、被害者を呼び出す前にすでに、強姦してやろうという「故意」を有していたことは、判決でも認定されており、被告人らの犯行は被害者に誘発されたとするのは、明らかに誤りです。本件は、一度携帯電話で話をしたことのある被害者を強姦しよう企てた被告人らが、言を繰って、被害者を呼びだし、車両に乗るよう誘ったのです。被害者がその誘いに乗ったことが、被告人らの犯行を誘発したのではありません。
- 3、強姦罪は、業務上過失傷害罪のように、被告人の行為自体も過失によるものであるため、被害者の過失をも考慮すべき犯罪とは異なります。特に本件は、あらかじめ強姦を企てていた被告人らが、犯行を全うするために被害者を呼びだした事案です。その計画性においても、犯情は高いといえます。
- 4、被害者の承諾に基づく和姦の場合、強姦罪は成立しません。そのため、強姦されたと告訴した被害者に対して、次のような非難が浴びせられることが多いのです。

①深夜に呼び出しに応じて車両に乗ったのは、性行為をされても良いと思っていたのではないか。

②性経験はあるか。あるとすればどのくらいか。経験豊富ならば被害者の方が性行為を誘ったのではないか。

深夜に男性の呼びかけに応じる被害者はふしだらだ。被告人らの性行為を誘発したのではないか。

③本当に抵抗したのか。その程度のものは、被害者の犯行を著しく困難ならしめる暴行・脅迫があったとはいえない。

④もっと抵抗すれば逃げることができたはずだ。そうしなかったのは、被害者の心の中に犯されたいと気持ちがあったからだ。

5、これに対し、例えば「強盗」の場合、被害者が、「たまたま、鍵をかけ忘れたのが悪い」、「犯罪の多発する地域に住んでいるせいだ」とか「もっと強盗犯人に抵抗すべきだった」とか非難されることが一般的にあるでしょうか。ましてや、それらの事由が強盗犯人の「量刑軽減」の理由になることがあるのでしょうか。

6、本件では、被害者は全裸で逃亡し、傷害までおわせられており、合意の意志が全く無く、故意の犯罪であることは明らかなのに、なぜ「重大な落ち度」を問われねばならないのでしょうか。

三、ここには、性犯罪に対する特別な判断があります。男性の「性欲と名付けられた支配欲、征服欲」を、本能的に仕方がないものとし、さらに言えば、女性の性がその犠牲となるのは仕方ないと認識し、性暴力をそれ以外の暴力に対し特別扱いし免罪する見方です。

しかし、男性の性欲の暴力的な発現形態は、決して本能に由来するものではなく、現代に至ってきた社会の中で、男性のジェンダーとして、社会的、後天的に男性の性格に刷り込まれたものであることは明白です。さらに、性犯罪の、人格の尊厳に対する侵害、性的自己決定権に対する侵犯の深さが、あまりにも軽視されていることは、以前にも述べたとおりです。

本判決は、「ボランティアによって減刑が考慮される」と言う、場合によっては、評価すべき判断の方途を、誤った適用によって混乱に陥れたばかりでなく、本来過失とみなすべきでない被害者の行動を「被害者重大な落ち度」と認定して、一部の男性の暴力的な性行動を結果的に容認した点に大きな誤りがあります。

今一度、強姦が人の人格を深く侵害する、いわば人の心に対する殺人ともいえる、重大な暴力・犯罪であることを理解してくださるよう切望いたします。

## [地球村]ジーンズ論争 イタリア司法動かす

1999.02.27 大阪朝刊 36頁 (全379字)

イタリアでレイプされたという女子学生(18)のジーンズをめぐってホットな論争が続いている。乱暴したとして禁固刑を受け、上告していた自動車運転指導員(45)に対し、同国最高裁が「体にひつたりのきついジーンズは、はいている人の協力がなければ脱がすのは無理。女子学生は性行為に同意していた」と逆転無罪としたのがきっかけ。

これに対し、ムソリーニの孫のアレッサン德拉・ムソリーニさんら6人の下院女性議員がジーンズ姿で議場に現れ「女性の尊厳を傷つける恥知らずな判決」と非難、憲法裁判所がこの判決を取り消すまでジーンズをはいて抗議するといきまいた。

新聞が、時代錯誤と指摘する女性判事の声を掲載するなど、批判は法曹界から女性団体などに広がり、最高裁はついに、ナポリ高裁に異例のやり直し裁判を命じた。高裁判決後、最高裁が改めて再審理し、年内に最終結論を出すという。

読売新聞社

## ジーンズ着用女性への“レイプ不成立”に怒った——伊で女性議員、ジーンズ姿で登庁

1999.02.12 東京夕刊 12頁 社会 (全461字)

### ◇着用論争

【ローマ11日石川貴章】女性の同意がなければ、ジーンズを脱がせられない——！？ イタリアの最高裁判所が、婦女暴行事件にからみ「ジーンズはきついので、女性の同意なしに脱がすことができず、暴行は成り立たない」との判決を下したことにより、イタリアの女性国会議員たちが猛反発、11日、ジーンズ姿で国会に登庁し、抗議のデモンストレーションを行った。

問題になったのは1994年、イタリア南部の街ボテンツァで起きた婦女暴行事件。現地の報道などによると、自動車教習所の教官(45)が、当時18歳の女性を人通りの少ない田舎道に誘い出し、肉体関係に及んだ。女性は「乱暴された」と訴えていたが、10日の最高裁判決は「女性の同意なしに、きついジーンズは脱がせられなかった」と判断して、懲役2年10ヶ月の有罪判決を言い渡していた2審判決を破棄、無罪を言い渡した。

これに対し、中道・保守系の「自由同盟」や「がんばれイタリア」などの上下院女性国会議員たちが、そろってジーンズ姿で登庁。「判決は、30年も昔に戻ったような堅物の発想」などと気勢を上げた。

毎日新聞社

## 4月から均等法と労基法が変わります

この4月から均等法は禁止規定となり、女性のみ募集も禁止となります。労基法の女子保護規定のうち深夜業や時間外労働の制限は原則的に撤廃となります。そこで会としては、4月から新聞各紙の求人欄のチェックをします。また、4、5月に職業安定所の求人カードをチェックします。

一応、事務局で分担を決めましたが職安については手が足りません。仕事などで職安に行く機会のある方はチェックして事務局までお知らせください。

(O)

## 新着ミニコミ・会報閲覧室

毎度おなじみの花粉が大量飛散する季節となりました。布団も干さず外出も控え、ひたすらこのシーズンが過ぎ去るのを待つ人が増えているとか…………？

ここに紹介する資料は資料係・川田が保管しております。会員は無料でコピーをお送りします。連絡先はTEL/FAXとも0587-93-4758（酒井方）

### 愛知女性研究者の会 No 163~164

愛知学泉大学コミュニティ政策学部による「セクシュアル・ハラスメントガイドライン」とセクハラ対策窓口の取り組みほか(163) 12月例会報告「非立身出世の系譜学～明治後期から大正期における女性労働感～宮沢優子さん」(164)

### あごら・さっぽろ No 220~221

シンポジウム「メディアの中の女性像を読み解く」に参加して~11月に北大言語学部が主催した日英シンポジウム、上野千鶴子基調講演「ジェンダーまみれの表現を組み替える—メディアにおける女性の闇い」はさすが明晰！内容の詳細を聞きたい方は、あごら札幌・連絡先☎011-644-2927まで

### 女たちの元気流ーおんな労働組合(関西)ニュース No 108~110

「日本女性会議'98あまがさき」報告～中野麻美さん基調講演「最近の労働界における規制緩和（派遣自由化、裁量労働制、労基法改悪）の動きは疲弊した男性中心の競争社会に覚醒剤を打つようなもの」「今こそ自分も他人もいじめないですむ、ゆとりのある労働条件を求め現実を変えねばならない！」と熱く訴え。

### ぐるうふNOT!セクシュアルハラスメントNEWS 98秋~99冬

「人権教育のための国連10年・福岡市行動計画」策定に向けて意見・要望書／読書案内～『京大・矢野事件』小野和子編著／インパクト出版会・イザラ書房／12/4~5 女性への暴力25時間ホットライン結果報告～相談件数は昨年の半数、しかしこれは公共機関など他にも相談窓口ができてきた成果か？／

DV（ドメスティック・バイオレンス）ホームページのお知らせ………

Stop DV Site <http://www.asahi-net.or.jp/VY8A-GMZW/>

DVにまつわる様々な神話を一蹴してくれるお勧めページ！日常生活の中でDV防止のためにできそうなことを、具体的に提案、元気が出るホームページです。

### それゆけ女たち（セクハラと斗う労働組合ばあぶる） No 80~82

永田えり子さん講演会報告「女らしさの値札－女を売り物にしない働き方はできるのか？」(80) 1/26性暴力を許さない女の会・公開講座「セクハラ裁判の現在」報告～横浜裁判、秋田裁判、三重大裁判の3件をとりあげ経過報告と問題点の整理。横浜・秋田の先行2件はいずれも一審敗訴、2審逆転勝訴であり被害者の対処行動に関して裁判官は少しは勉強してきている。ところが三重大裁判に関しては状況が違い、1審で1部容認の後現在も控訴中。原告へのサポートとして、まだまだ普通の人生觀に基づく社会通念を変えていくことが大事と結論。

### 日本女性学研究会ニュース No 196~199

「わたしからフェミニズム」発刊記念シンポジウム＆パーティー報告(198~199)

### NFUふれあい通じ No 1

W・W年末パーティの席でも会員の森みゆきさんからアピールがあった「名古屋ふれあいユニオン」結成大会1/31の報告、大脇雅子さん講演要旨など。